

令和4年度 学校経営計画書

岡山県立岡山操山高等学校（全日制課程）

○本校のミッション

グローバル化に対応した学びを推進し、幅広い知識と教養を培う併設型中高一貫教育校として、国内外の大学等と連携した探究学習の推進により、課題発見・解決能力を高め、国際的な視野を広げる教育活動を通して、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

○内外の環境分析

区分	内部環境	外部環境
特色	<ul style="list-style-type: none"> 育む資質・能力を定めて文科省指定による WWL カリキュラム開発を推進している。 学力や向上心が高く、様々な才能を持った生徒が集まっている。 中高一貫教育校として、多彩で特色ある教育活動を展開している。 校内の ICT 環境、Wi-Fi 環境が整い、生徒・教員が一人1台 Chromebook を活用し、多様で効果的な授業展開と主体的な学びを実践している。 スロープやエレベータの設置により校内のバリアフリー化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 創立 120 年を超える歴史を持つ伝統校として、また中高一貫教育校、WWL カリキュラム開発拠点校として県民の関心・期待が高い。 保護者や卒業生の学校への信頼は厚く、協力・支援を得られやすい環境にある。 県内外から多くの学校訪問があり、県内のみならず県外からも中高一貫教育校、WWL カリキュラム開発拠点校としての注目度や評価が高い。 Wi-Fi 環境や一人1台 Chromebook 等、先進的な教育に取り組み注目されている。 オーストラリアに姉妹校を持ち交流を行っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特色や在り方、将来像について、すべての教職員がそのビジョンを共有する必要がある。 中高一貫教育を推進するために、生徒支援や教科研究、部活動等において、中高の連携をさらに深める工夫が必要である。 心理的な課題をもつ生徒に対して個に応じた支援を強化する必要がある。 業務の適正化や負担軽減を考慮し、教職員の心身の健康維持を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特色ある教育活動やその成果、あるいは WWL カリキュラム開発などの取組等について、本校保護者や中学生等により理解してもらう必要がある。 県内中高一貫教育校の増加や私学等の特色ある取組の中で、スクールアイデンティティを明確に打ち出すとともに、効果的・積極的な広報活動や生徒募集を行う必要がある。 高大接続改革や新学習指導要領へ適切に対応できる指導体制をより強化する必要がある。 1号館の長寿命化大規模改修に向けて、環境充実につながる基本設計を行う必要がある。

○本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- 【高い志】自らの在り方や生き方を探究し、日本や国際社会の未来を切り拓く高い志を持った生徒を育成する。
- 【確かな学力】主体的に学び、考え、個性や才能を最大限に伸ばす強い意志を持った、心身ともに健康な生徒を育成する。
- 【豊かな心】社会の一員としての自覚を深め、互いに認め、共に高め合う、豊かな人間性を持った生徒を育成する。

○具体的な学校経営目標・計画

- 【ワールド・ワイド・ラーニング・コンソーシアム構築支援事業におけるカリキュラム開発の推進】

[目標] 本校が定めたグローバル・リーダーに必要な「6つの資質・能力」の向上を目指して、活動の3つの柱「社会の多様性への理解の促進」「課題研究の充実」「高度な学びの推進」を重視し、生徒の学習意欲や進路意識を高め、未来の岡山と世界の Well-being の実現に貢献するグローバル・リーダーを育成する。

[計画] ○大学入試改革を見据えた WWL 課と教務課・進路指導課等との連携促進 ○大学・企業・連携校や海外の高校等と AL ネットワークを構築し高校生国際会議等の開催 ○「未来航路」及び「SOZAN 国際塾」における課題研究の推進 ○中高一貫課題研究メソッドの開発 ○海外姉妹校との共同課題研究 ○「GLOBAL STUDIES」における中高連携による教科指導を通じた資質・能力の向上と英語力の向上、「Global Can-do List」に基づく学習活動の深化 ○データサイエンス等を含んだ文理融合・教科横断的科目「SOZAN STEAM」の充実 ○ICT 委員会による Chromebook 活用の組織的な推進
- 【進路実現】

[目標] 高い志をもつ生徒を育成し、東京大学や京都大学をはじめとする難関大学や難関学部、SGU（トップ型）、及び地元岡山大学をはじめとする国公立大学への進路実現を目指す。

[計画] ○大学入試制度改革に対応する指導の推進 ○学年団と進路指導課の効果的な連携と進路指導体制の確立 ○校内研修や授業研究及び県外先進校視察などによる教員の指導力向上 ○生徒の主体的な学習への指導・支援
- 【生徒に対する総合的な支援の推進】

[目標] 生徒支援委員会を活性化し、特別な支援を要する生徒や心理的課題を有する生徒等に対する総合的な支援を行い、不登校や学校不適応を減少させるとともに、積極的な生徒指導を展開する。

[計画] ○個別的教育支援計画の整備 ○支援を要する生徒情報の共有と早期対応 ○各学年生徒支援係の活動の充実 ○自尊感情や自己有用感を高める取組の充実 ○教職員を対象とした研修の充実及び保護者を対象とした啓発活動の実施 ○いじめなど生徒間の問題の未然防止・早期発見・早期対応、併設中学校及び外部機関との連携 ○校内美化等環境整備
- 【開かれた学校づくりの推進】

[目標] 中学生とその保護者に対して積極的に情報発信し、効果的な生徒募集を行う。また、本校保護者、本校卒業生、地域に対しても積極的に情報発信し、連携を推進する。

[計画] ○中学校や志願者に関する情報の積極的収集 ○学校説明会やオープンスクール等の充実 ○ホームページの充実及びメールサービス・SNS 等の効果的活用 ○経営目標・計画に基づく自己評価及び学校関係者評価の公開と活用
- 【組織の活性化・業務の効率化の推進、教職員の健康の維持】

[目標] 学校の課題や将来ビジョンをすべての教職員が共有し、ベクトルの合った業務を遂行するとともに、働きがいのある職場を創る。また、学校組織の再編や業務の効率化を図り、教職員の心身の健康を維持する。

[計画] ○学校課題や経営目標とその進捗状況等の共有 ○危機管理体制の整備 ○委員会や分掌等の再編成や廃止を含めた学校組織や学校業務の整理統合 ○教職員の勤務状況の把握と適正化 ○1号館大規模改修に向けた基本設計の検討